

「不利益処分」 基準等公開票（条例又は規則）

不利益処分名	入館等の制限	
根拠条例等・条項	堺市博物館管理運営規則第４条	
所 管 課	文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課	
処 分 基 準	<p>・設 定 ・ 設定できない ・ 基準を公開できない</p> <p>・ 施設利用者の安全と健全な利用にふさわしい施設環境の保持、施設（公有財産）の保全を図るため、これらの妨げとなる者の入館を制限する。</p> <p>・ この処分は次に掲げる規則に該当する者に対して行う。</p> <p>〔堺市博物館管理運営規則第４条（入館等の制限）〕</p> <p>教育長は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館若しくは資料の展示会場への入場を拒絶し、若しくは退館させ、又は資料の利用を停止し、若しくは禁止することができる。</p> <p>（１）他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となる物品若しくは動物の類を携行する者</p> <p>（２）公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められる者</p> <p>（３）資料、建物、付属設備その他器具備品等を破損し、又は滅失するおそれがあると認められる者</p> <p>（４）前３号に掲げる者のほか、博物館の管理上支障があると認められる者</p>	
聴聞・弁明の機会の付与の区分	聴聞又は弁明の別	・ 聴 聞 ・ 弁 明
	（聴聞又は弁明の手続を省略する場合の根拠条項等）	ただし、行政手続条例第１３条第２項第１号に規定する「公益上、緊急に不利益処分をする必要があるため、前項に規定する意見陳述のための手続を執ることができないとき」に該当するため、手続を省略する。
	個別例規により聴聞又は弁明の手続の適用が除外される場合の根拠例規及び条項	